

## 特定非営利活動法人 PI-Forum〔ピーアイ・フォーラム〕

### 第7回 定期総会 (平成20年6月27日)

### 議案書

第1号議案：平成19年度事業報告等について

第2号議案：平成20年度理事会運営等について

第3号議案：平成20年度事業計画等について

PI-Forumでは、設立6年度にあたる平成19年度事業を終了し、会員各位に対するご報告を行うとともに平成19年度の活動実績を踏まえた平成20年度の事業計画についてお諮りするものです。

今年度の活動を実り多きものとすべく、総会での審議をお願いしたいと存じます。

平成20年6月27日(金) 18時30分開会

於：ビジョンセンター秋葉原

# 第 1 号議案：平成 19 年度事業報告等について

## 事業報告

### はじめに 議案の趣旨

本議案は、平成 19 年 6 月 21 日第 6 回定期総会において承認された平成 19 年度事業計画等の実施結果についてご報告するものです。

### 1. 事業の成果

#### 1) 広報啓発事業

「PI-Forum 誌発行事業」(担当：松浦) 事業提案書 No. 1

##### 【実施概要】

PI-Forum 誌の発行により、学術分野や立場を問わず、ミクロからマクロまで、PI-Forum の定義する 3 つの PI に関心のある研究者、実務家の理論、言説、仮説などを、テーマを定めた上で収集し、定期的に共有する。2007 年度は第 3 号を発行した。

##### 【事業成果】

第 3 号は予定通り発行した。第 4 号については当初の予定通り企画が進行せず、発行できていない。来年度に持ち越すこととする。

「PI 書籍出版プロジェクト」(担当：菊池) 事業提案書 No. 2

##### 【実施概要】

PI-Forum のプレゼンスアップ、合意形成、PI、CB に対する啓発、法人活動におけるツール、および財政状況改善を目的とし、書籍の出版企画(コンセプト、章立て、出版形態の決定(新書を目指す))を作成し、フリーの編集者に依頼して出版社の編集者に提案をして貰ったが、条件に合う出版社が見つからなかった。

##### 【事業成果】

書籍の出版を目標にしたものの、出版はおろか出版社の選択にも至らなかった。

目標を新書としたことで出版への関が高くなり、出版社を納得させる材料を提示できなかったこと、上述の材料を構成するに当たり他の理事への協力の要請を行ったものの、理事一名と事務局からの反応があった以外は一切の協力を得られなかったことが課題として挙げられる。次年度も継続して事業を行うためには理事の協力が不可欠である。見込みがないならこれをもって事業を終了するのが相当であると考える。

PI-Forum 年次セミナー 2007 ～PI 評価と合意形成手法の可能性～

(担当：田熊) 事業提案書 No. 3

##### 【実施概要】

本事業は、合意形成の知識・実践に関心を持つ各界・各層の方々を開かれた共創の場として、2004 年度から 3 ヶ年に渡って開催してきた PI-Forum の最大規模の成果発表会である。

4 年目を迎える今回は、これまでの年次セミナーやワークショップを通じて検討してきた「PI の評価指針」を柱にして、合意形成手法を公共事業のみならず社会活動全般への応用を示すことを目指し、昨年 11 月 21 日にキャンパスイノベーションセンター東京にて、「PI-Forum 年次セミナー 2007 ～PI 評価と合意形成手法の可能性～」を無事開催することができた。その際、参加者数は午前 29 名午後 38 名であり、公共事業に関わる合意形成に携わる方から IT などの異分野の方まで幅広く集まっていた。

## **[事業成果]**

当事業を通じて私たち PI-Forum が今まで提唱してきた「PI 指針」「市民参加の評価項目」および「実務者倫理規定」の重要性を改めて確認するとともに、こうした考え方を公共事業の分野に適用した際により具体的な方法論、および IT 分野など合意形成が必要な異分野においても適用可能である事を確認できた。

### **合意形成技術に関する教育・研修プログラム見本市**

(担当：山中) 事業提案書 No. 4

## **[実施概要]**

本年度においては、共催団体である土木学会四国支部合意形成委員会の研究予算・計画の変更に伴い、実施には至らなかった。

## **[事業成果]**

PI-Forum 理事 2 名が個人としての立場ではあるが土木学会四国支部合意形成委員会の研究成果報告書に合意形成運営技術の教育事例等について投稿することができた。

次年度以降も同様の主旨での研究調査が予定されており、PI-Forum としても学会委員会等とのリンクを高め、共催のイベント開催等について検討を継続することとする。

### **「異分野 PI 交流ワークショップ(将来展望編)」(担当：松浦) No.5**

## **[実施概要]**

これまで異分野交流 WS が開催されてきているが、今年度は長期ビジョンを今後検討することを念頭に置きつつ、さまざまな分野で「合意形成」に対するニーズへとつながりそうな動きとしてどのようなものがあるのかを把握するとともに、異分野間のコラボレーション促進を目的に IT をテーマとして WS を実施した。

## **[事業成果]**

2007年8月2日にキャンパスイノベーションセンターにおいて実施した。田熊伸好氏(株式会社日立コンサルティング マネージングディレクター)と前村昌紀氏(社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) IP 事業部長)に、いわゆる IT 部門における合意形成のニーズについて現場のご体験に基づくお話をお聞かせいただいた。パネル・ディスカッションでは、ステークホルダーを特定することの難しさ、ステークホルダー間のコミュニケーションの難しさ、コミュニケーションを円滑にする方法論、IT 上での合意形成の可能性について議論を深めた。

### **PI-Forum 連続セミナー2007(担当：石川) 事業提案書 No. 6**

## **[実施概要]**

開催期間は平成19年9月～平成20年3月、合意形成のための主な技法である「交渉学」「メディエーション」「コミュニケーション」の3テーマについて、理論と演習という形で各2回ずつ計6回を一つのまとまりとして実施した。プログラムとしては、1.メディエーションでは、裁判外紛争解決手続き(ADR)の概要と歴史、メディエーションの基本的なスタイル、ルール、プロセスに関する理論と、それらに基づく参加者によるADRのロールプレイ、2.交渉学では、利害調整やBATNA等の交渉学の基礎、幅広い利害関係者が関与するコンセンサスビルディングの理論と、マルチステークホルダー交渉のロールプレイ、3.コミュニケーションでは、メディエーションや交渉の場面でも必要となる合意形成のためのコミュニケーションの基礎とファシリテーターの役割と、利害対立におけるファシリテーション演習 - という内容で、いずれも、講義を通じて理論的な理解をしたうえで、ロールプレイやグループ討議などの参加型演習を交えて、より体感的に深く学ぶことができる構成とした。

## **[事業成果]**

参加者は12名、セミナーの満足度も高く、「合意形成についての書籍等はい多いですが、こうしたセミナーは本当に少ないので、とても貴重な体験となりました。」「立場の違う人

間との交渉、説得する場が増える中、座学だけでなく、実践を多々入れていただき大変勉強になった。」「今まで受けたファシリテーション研修など、どの研修よりも内容が実践的だった。」などの高い評価をいただいた。また、このセミナーをきっかけに、参加者間の人と人のつながりもでき、他地域でのセミナーの展開も始まっている。

## 2) 研究開発事業

「四国WS『市民参加の運営技術 - 経験とその評価 - 』」

(担当：小松) 事業提案書 No. 7

### 【事業概要】

本事業は平成16年から開始して今年で4回目の開催となるもので、多様な経験とスキルが必要となっている市民参加や合意形成の現場において、技術者同士が事例を発表・評価し、会議技術や合意形成支援技術等の向上を図るとともに、人的ネットワークの広がりを持つことを目的とした。

本年度は、事例発表+各分野別のディスカッション+全体シンポジウムというこれまでにない構成で実施し、参加した技術者同士が交流できるWSとなるよう心がけた。

### 【事業成果】

本年度は「河川」「道路」「環境」「都市計画」の4分野に教室を別れ、事例発表者と参加者がディスカッションする場を設ける試みを実施し、研究者のみならず、合意形成の運営を担う現場の技術者にとっても非常に有益なイベントとなった。当日は、年始の多忙な時期にも関わらず60名の参加者が会場に集まり、合意形成運営についての関心が高いことを伺わせた。

なお、次年度については四国4県を一周したことから、スタート地である徳島県での開催を検討することとした(1回目：徳島、2回目：高知、3回目：愛媛、4回目：香川開催)。

PI指針と倫理・評価に関する規定検討事業(担当：城山) 事業提案書 No. 8

### 【実施概要】

「PI指針(v4)」のエッセンスである「PI評価項目」を精査して、「PI評価項目(v2)」を作成した。また、その基本的な考え方を広く社会に提供するための解説資料を作成し、年次セミナー2007において試行した。また、「PI倫理規定(v1)」については、使われる場面を想定して改訂を行い、「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」を作成した。

### 【事業成果】

評価項目、実務者倫理のいずれについてもほぼ完成しつつある。今後は、PI指針とともに、積極的に広報に努めるとともに、現場での利用経験を踏まえて改訂していく必要がある。

## 3) 現場支援事業

現場支援事業の試行(担当：水谷) 事業提案書 No. 9

### 【事業概要】

現場支援業務として、北海道での連続セミナー(3回)を受託し1回実施した。残りの2回については、平成20年度に実施する予定である。この業務は、連続セミナー2007の受講者からの紹介で、昨年度作成した「サービスメニュー(案)」の「研究講師」にあたる。業務の契約内容、手続きについては、「人件費等の支払い方法に関する内規(案)」、「契約までの流れ(案)」に沿うものであった。

### 【事業成果】

昨年度作成した現場支援事業に係る内規(案)等を、実際の業務を受注するときに適用し、大まかな流れに問題がないことを確認した。講師謝金については、個別交渉で決められたが、業務の受注金額により業務間で大きな差が生じることが分かった。次年度以降は内容に応じた支払いができるよう内規を整備していく必要がある。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報啓発事業	PI-Forum 誌発行	年1回発行	全国	5名	全国のPI関心者	7
	PI書籍出版プロジェクト	19/9-20/4	全国	10名		0
	PI-Forum年次セミナー2007	19/11	東京	10名	合意形成に関する関連領域の関心者67名	518
	合意形成に関する教育・研修プログラム見本市(未実施)			2名		0
	異分野PI交流ワークショップ	19/8	東京	5名	関東地域の合意形成関心者45名	127
	PI-Forum連続セミナー2007	19/9-20/3	東京	4名	全国の合意形成関心者12名	366
研究開発事業	四国WS	20/1	香川	2名	四国内のPI関心者60名	0
	PI指針と倫理・評価に関する規定検討	19/9-11	東京	3名	全国のPI関心者	0
現場支援事業	現場支援事業の試行	20/2-4	北海道	3名	現場支援事業の参加者30名	32

### (2) 収益事業

今年度は、収益事業は行わなかった。

#### 収支決算

(別添、資料2「平成19年度収支決算関係資料」参照)

#### 1. 財産目録

別添、資料2の通り

#### 2. 貸借対照表(特定非営利活動に係る事業/収益事業)

別添、資料2の通り

#### 3. 収支計算書(特定非営利活動に係る事業/収益事業)

別添、資料2の通り

#### その他

前年度において役員であったことがあるもの全員の名簿及びそのうち前年において報酬を受けたことがあるもの全員の名簿(別添、資料3の通り)、前事業年度の社員名簿(別添、資料4の通り)。

以上

## 第2号議案：平成20年度理事会運営等について

### 1. 理事会の運営方針

理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。(第15条)こととなっている。

平成20年度の理事会の運営にあたっては、これまでの経験を踏まえて、以下の方針で臨む。

1) 理事会は、定例の理事会を年2回程度開催し、法人運営に係る協議・運営事項に関して情報共有をはかり、相互に協力して必要な措置を速やかに講じる。また、理事会開催にあたって各理事は経費削減に努め、旅費の節約に取り組むほか、平時の打ち合わせにはインターネットを活用する。

2) 理事会は、事業毎に理事及び理事以外のメンバー(会員等)によるプロジェクトリーダーを選任し、プロジェクトリーダーに対して事業執行に関する積極的な権限委譲を行うとともに、事業の進捗を評価し適時・適切な支援を行う。

3) 昨年同様、迅速且つ円滑な会計処理を遂行するため、理事の中から「会計担当理事」を選任し、その者に1件当たり50万円以下の案件について会計上の決裁権を与え、事務局に決済を指示するものとする。なお、1件当たり50万円以上の案件については、メール等により、理事会の承認を得ることとする。

### 2. 理事、監事の新任・再任について

平成20年6月30日をもって、現在の理事及び監事全員の任期が終了することとなるため、現在の理事(梅本氏を除く)の再任について審議し、本総会で議決することとする。

また、平成20年度より、梅本氏(元理事)を新たな監事として選任することについて審議し、本総会で議決することとする。梅本氏については、これまで当法人の理事として、教育分野の専門知識やマーケティングノウハウを中心に各種イベント等で参加・協力をいただいております。今後は監事としてPI-Forumの定款に基づきご尽力いただきたいと思います。

なお、理事長、副理事長については、上記審議の議決後、理事の互選によって決定する。

### 3. 事務局体制の充実

1) 会員の中で、積極的にNPOの事業に参画するメンバーにおいては、「コーディネーター」として理事会で承認し、各プロジェクトの運営やNPOの広報活動のコアメンバーとして、活動を積極的に実施していただく。コーディネーターにおいては、その活動上、NPOの名刺を保有するなどし、各種普及啓発活動に協力いただくほか、講師としてNPO主催のセミナー等で登壇していただくなど、有償を含む活動に積極的にプロジェクト単位で参画いただくこととする。

2) 会員の中で、各プロジェクトの準備・運営等のサポート役として参画するメンバーを「選任事務局員」として理事会で承認し、各プロジェクトをNPOの事務局とともに支援することとする。

3) 理事会にて事務局長を選任し、高知、東京、名古屋での事務局業務の効率的連携を図るとともに、資金調達、企業や非営利団体との連携を促進する枠組みを整備する。

# 第3号議案：平成20年度事業計画等について

---

## 事業計画

### はじめに - 議案の提案趣旨 -

本議案は、平成20年5月1日から平成21年4月30日までの「平成20年度事業計画」について、会員のコンセンサスを得るためのものです。

### 1. 平成20年度の実業方針

平成19年度においては、4年目となる年次セミナーを開催したほか、自主事業である連続セミナーを成功させ、収益面の自立に寄与する事業を実施することができた。

また、東京事務局の機能充実により、複数のイベントを東京において実施することができ、平成20年度は、この体制の下で独自コンテンツのさらなる拡充を図り、効率的な事業実施を試みることを期待される。一方、事務局の欠員確保や責任ある事業実施に向けた理事の役割分担など運営上の課題もあることから、下記にあげる組織体制の見直し、強化に努めることとする。

#### 1. プロジェクト担当の明確化

理事及び事務局、会員のそれぞれがプロジェクトリーダーと為り得る体制の中、各事業において誰が責任者であるか明確に位置づけ、事業実施にあたっては、プロジェクトリーダーを理事及び事務局が積極的に支援する。

#### 2. 組織運営の自立性の確保

PI-Forumの各活動の連携を強化するとともに、対外的な説明や協力要請につとめ、財政的に持続可能な体制の確立を目指す。また、NPOの活動主旨に沿った活動経費を生む事業に積極的に取り組み、これまで実施してきた実績・ノウハウをもとにした営業にも努める。

## 2. 事業の実施に関する事項

### 1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
広報啓発 事業	PI-Forum 誌発行事業	1回 発行	全国	5名	全国のPI関 心者	115
	出版事業	20/7-	全国	10名	全国のPI関 心者	0
	PI-Forum 年次セミナー 2008	20/11	東京	10名	関東地域の PI 関心者	1,080
	異分野 PI 交流ワークシ ョップ	年3回 開催	東京	3名	関東地域の PI 関心者約 30名	210
	PI-Forum 連続セミナー 2008	20/7- 21/3	東京 名古屋	15名	関東、中部 地域のPI関 心者	1,800
研究開発 事業	四国 WS	21/1	徳島	4名	四国内のPI 関心者約40 名	0
	PI 指針と倫理・評価に 関する規定検討事業	20/8、9 21/1	東京	3名	関東地域の PI 関心者	0
現場支援 事業	現場支援事業の試行	20/7- 21/2	全国	5名	全国のPI関 心者	1,060
	PI-Forum ナレッジの体 系化	20/7- 21/2	東京	5名	PI-Forum 及びその会 員	350

### 2. 収益事業

今年度は、収益事業は行わない。

### 3. 事業実施に関する内容

#### 1) 広報啓発事業

##### 「PI-Forum 誌発行事業」(担当：松浦) 事業提案書 No. 1

PI-Forum 誌の発行により、学術分野や立場を問わず、ミクロからマクロまで、PI-Forum の定義する3つのPI (public incubation, public initiatives, and public involvement) に関心のある研究者、実務家の理論、言説、仮説などを、テーマを定めた上で収集し、定期的に共有する。

PI-Forum ではこれまで、研究者および実務家による自発的な情報交換を支援するため、ポータルサイトの構築と無償サービス提供を行ってきた。PI-Forum 誌の発行は、PI-Forum が能動的に情報を収集、拡散することにより、さらなる分野横断的情報共有を推進するものである。

昨年度は諸般の事情により発行できなかったが、本年度は第4号の発行を目指して、原稿公募、編集を行う。

##### 「PI 書籍出版プロジェクト」(担当：菊池) 事業提案書 No. 2

PI-Forum のプレゼンスアップ、合意形成、PI、CB に対する啓発、法人活動におけるツール、および財政状況改善を目的として合意形成に関する書籍の出版の可能性を検討する。

##### PI-Forum 年次セミナー2008 (担当：田中) 事業提案書 No. 3

本事業は、合意形成の知識・実践に関心を持つ各界・各層の方々に関わられた共創の場として、2004年度から4カ年に渡って開催してきたPI-Forumの最大規模の成果発表会である。

我々が蓄積してきた様々な知識や情報を広く伝えることで、PI-Forumの活動を広く知らしめると共に、PIや合意形成への関心を高め、人的ネットワークを拡大することを目的としている。

5年目を迎える今回は、これまでの年次セミナーを継承しつつも、理事、会員から構成されるプロジェクトチームを編成し、新しい展開を検討する。

##### 異分野PI交流ワークショップ(将来展望編)

##### (担当：松浦) 事業提案書 No. 4

これまで異分野交流WSが開催されてきているが、今年度は「合意形成推進ロードマップ( )」や「合意形成推進シナリオ( )」といった長期ビジョンを今後検討することを念頭に置きつつ、さまざまな分野で「合意形成」に対するニーズへとつながりそうな動きとしてどのようなものがあるのかを把握するとともに、異分野間のコラボレーション促進を目的にWSを実施する。

(合意形成を推進する上で、法制度の改正や五箇年計画の策定など重要な動きを見据えた上で、どのような分野でどのような人々に、マーケティングやロビイング等の圧力を戦略的にかけていけばよさそうかを示す見取り図)

(シナリオ・プランニング技法により、超長期の視点から、わが国の「合意形成」がどのような姿になるかについて複数提示される将来像)

##### PI-Forum連続セミナー2008

##### (担当：水谷) 事業提案書 No. 5

昨年度からの継続事業として、PIに関する各種のセミナーを連続して行うことにより、関心を持つ人々に対してPIに関する基本的な内容を知ってもらう場を提供する。

昨年度参加をいただいた法人をはじめ、関東、中部地域の公的機関、公益企業などPIに対するニーズが高いと思われる法人に参加を呼びかけることを通じて、PI-Forumの活動をPRするとともに、協賛会員となっていただくきっかけとする。

## 2) 研究開発事業

### 四国WS『(仮称)合意形成運営技術者のナレッジと評価及びロスターの検討』 (担当：小松) 事業提案書 No. 6

これまで4年間実施してきたWSの新たな展開として、主旨である四国内の合意形成運営技術者の交流促進はもとより、合意形成運営技術者の評価やロスター(技術者リスト)実施といった、一步踏み込んだ議論ができる場を設けることを検討する。

会場は徳島市内とし、本年度においては、事例発表とは別に実施するディスカッションについて、より深い議論が実施できるような時間配分や会場づくりを心がける。

### PI指針と倫理・評価に関する規定展開事業(担当：城山) 事業提案書 No. 7

事業の目的は以下の2点である。

H18年度までに作成した「PI指針(v4)」、H19年度に作成した「PI評価項目(v2)」、PI評価項目解説資料、「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」の広報に努める。特に、「参加プロセスの実務者倫理(v1.0)」については、現場での活用経験も踏まえて議論の機会を設定し、その結果をフィードバックする形で改訂を検討する。

## 3) 現場支援事業

### 現場支援事業の試行(担当：菊池) 事業提案書 No. 8

昨年度は、「現場支援事業の試行」として、「人件費等の支払い方法に関する内規(案)」、「契約までの流れ(案)」、「サービスメニュー(案)」等に沿って、「北海道での連続セミナー」を受注し、大きな問題はないことが確認された。

今年度も引き続き幾つかの業務を受注しながら、また更にこれまでの異分野PI交流ワークショップや年次セミナーの成果を活かした自主事業、他組織と連携した事業を企画・実施しながら、現状での課題点を整理し、短期的に解決できる問題を解決し、長期的に解決すべき課題には解決方針を与える。

具体的な継続事業および自主事業としては、下記の事業を予定している。

#### 北海道連続セミナー(担当：松浦、入江)

昨年度受注した北海道連続セミナーの2回目を夏ごろに、3回目を秋頃に実施する。

#### PI-Forumによる中立的第三者としての現場支援体制の試行(担当：山中)

PI-Forumが提案してきたPI指針・倫理にのっとり、具体的な現場支援事業(ファシリテータ派遣、研修、指導など)の条件整理を進める。

#### IT系講座(担当：田熊)

企業や官公庁においてITシステムの導入の際に必要な合意形成において、PIフォーラムの提唱する「PI指針」「市民参加の評価項目」および「実務者倫理規定」などを応用することで、ITプロジェクトを成功に導くことができる。こうした異分野におけるPI、合意形成の応用の考え方や事例をPIフォーラムとして関係者にわかりやすく解説し、合意形成の重要性に関して啓発を図っていく。

### **PIナレッジの体系化 事業提案書 No. 9**

これまでに PI-Forum が実施してきた事業などに関連するナレッジを体系化することにより、多様なPIに関連する方法論などの関連性を明らかにし、社会に対して提示する。また、これらを整理することにより、PI-Forum が提供できるセミナー等の企画に結びつけるなど、これまでに蓄積してきたナレッジの有効活用を図る。

### **予算計画**

別添、資料4「平成19年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書(案)」の通り

以上